

北陸地方整備局
新潟港湾・空港整備事務所

記者発表

配布日時

平成25年11月20日



「湊まち新潟歴史ウォーク2013」最終回開催 ～第7回「開港150年の湊まち新潟」に向けて～

湊まち新潟歴史ウォーク実行委員会が主催する「湊まち新潟歴史ウォーク2013」の第7回最終回を、下記のとおり開催いたします。

これまで、5月25日第1回～湊まち新潟の歴史概説～、6月22日第2回～大型浚渫兼油回収船「白山」と新潟みなとトンネル及び新潟西海岸～、7月20日第3回～新潟湊の下町散策～、8月24日第4回～水運で活用されている水路散策～、9月21日第5回～新潟湊の経済を支えた建物探訪～、10月19日第6回～沼垂湊のまち散策～を、湊まち新潟の歴史に触れながら歩いてきました。

今回は、講師に新潟市歴史博物館学芸員 安宅俊介 氏を招いての「記念講演」と、NPO法人にいがた湊あねさま倶楽部代表 小島富美子 氏を進行役に「意見交換会」を行います。

5月から10月まで毎月開催されたウォークの総決算として、参加者が感じた思いや気付き、開港150年を迎える「湊まち新潟」への期待と提案を自由に発言していただき、今後の湊まちづくりに活かしていきたいと考えています。

【第7回概要】

1. 日時 11月23日(土) 9:30～12:00(予定)
2. 開催場所 朱鷺メッセ 31階展望室
3. 参加人数 40名(予定)
4. 行程
 - (1)主催者挨拶 (9:30)
 - (2)記念講演 「新潟湊～江戸から明治～」
新潟市歴史博物館 学芸員 安宅俊介 氏
 - (3)参加証書授与
 - (4)意見交換会
NPO法人にいがた湊あねさま倶楽部 代表 小島富美子 氏
 - (5)終了挨拶 (12:00)

※別添参考資料「昨年度最終回第7回及び今年度第1回～第6回開催概要」A4-3枚

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
新潟市政記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省 北陸地方整備局
新潟港湾・空港整備事務所
湊まち新潟歴史ウォーク
実行委員会 事務局
担当 岩瀬
TEL 025-222-6111
FAX 025-227-3170

「昨年度最終回第7回及び今年度第1回～第6回開催概要」

昨年度の最終回「湊まち新潟歴史ウォーク2012」第7回開催概要

平成24年11月17日（土）、朱鷺メッセ31階展望室において、湊まち新潟歴史ウォーク実行委員会が主催する「湊まち新潟歴史ウォーク2012」の第7回最終回がスタッフと参加者42名で行われました。新潟市歴史博物館（みなとぴあ）伊東祐之副館長を講師に『湊町』としての新潟ーその歴史と特質ーと題しての記念講演で、参加者は第1回から第6回までのウォークを重ねて、「湊まち新潟」に思いを深めました。

続いて参加証書が授与され、NPO法人にいがた湊あねさま倶楽部小島富美子代表を進行役に「意見交換会」へと進みました。「湊まち新潟を歩いて、0m 地帯だと実感した」、「ポイントで知っていた場所が繋がった」とのウォークに参加しての気付きや、「バス停や案内標識がわかりにくい」、「港の施設の周辺にはトイレや休憩場所、駐車場が必要」など様々な意見が参加者全員から発言されました。

「西港、東港の機能や重要性をもっとPRすべき」、「港の近代の歴史も学べる機会を」、「副読本を作成して、小学校からの教育に取り入れては」など、2019年に開港150年を迎える「湊まち新潟」への今後の希望、期待と提案を湊まちづくりに活かしていくことを確認して終了しました。



昨年度（2012年）参加証書授与



昨年度（2012年）意見交換会



昨年度（2012年）記念講演

今年度の「湊まち新潟歴史ウォーク2013」第1回～第6回開催概要

◆5月25日(土) 第1回～湊まち新潟の歴史概説～

5月25日、「湊まち新潟歴史ウォーク2013」の第1回が開催され、新潟市歴史博物館（みなとぴあ）に集合の参加者とスタッフ51名が班別に色分けした名札を胸に、NPO法人新潟みなとクラブの石井実行委員長の挨拶で幕を開けました。続いて、みなとぴあの研修室で今回のテーマ～湊まち新潟の歴史概説～を演題に、新潟平野と新潟湊から始まる湊の歴史についての講義があり、ボランティアガイドの説明で館内展示を回りました。その後、みなとオアシスに登録されている「信濃川左岸緑地（みなと・さがん）」から柳都大橋を渡り「朱鷺メッセ」までの約1.6kmをウォークし、信濃川から新潟港を望みました。朱鷺メッセの展望室からは、佐渡や残雪に輝く飯豊連峰まで遠望でき、当事務所三役が新潟西港を中心に港の施設などを説明し質問に答えました。



◆6月22日(土) 第2回～大型浚渫兼油回収船「白山」と新潟みなとトンネル及び新潟西海岸～

6月22日、「新潟みなと歴史ウォーク2013」の第2回～大型浚渫兼油回収船「白山」と新潟みなとトンネル及び新潟西海岸～が開催され、実行委員を含む約51名が参加しました。普段は見ることの出来ない「白山」の船内を佐藤船長が説明し、引き続き、隣接する「入船みなとタワー」の管制室を見学、展望室からは新潟西港の概要と歴史について当事務所阿部所長が解説しました。その後、トンネルの自歩道に入り、そこから新潟西海岸の第1突堤の先端まで歩きました。青空のもと、少し汗ばむ陽気でしたが、参加者は、気持ちのよい海風に吹かれて、満足している様子でした。最後は、水戸教公園に行き、昔の水先案内人について学び解散となりました。



新潟西海岸第1突堤



入船みなとタワー

◆7月20日(土) 第3回～新潟湊の下町散策～

7月20日、「湊まち新潟歴史ウォーク2013」の第3回～新潟湊の下町散策～が開催されました。時折さわやかな風が吹く新潟市歴史博物館（みなとぴあ）に、31名の参加者と21名の実行委員、事務所スタッフが集合し、実行委員長のNPO法人新潟みなとクラブ石井代表の挨拶で始まりました。二代目市役所庁舎を模した外観のみなとぴあ本館のほか敷地内の施設を回ってスタートし、湊



小澤家の見学

で栄えた豪商旧小澤家など湊と共に発展してきた下町の歴史と、今も残る湊まちの佇まいたたずに触れながら新潟シティガイドの案内で約4kmを散策しました。

◆8月24日（土）第4回～水運で活用されている水路散策～

8月24日、「湊まち新潟歴史ウォーク2013」の第4回～水運で活用されている水路散策～が実行委員会を含む51名の参加で開催されました。江戸時代に「沼垂湊」として栄えた阿賀野川本流の地に整備された通船川をボートに乗り、現在も流域の水上交通路として木材関係の運搬保管に利用されている姿を探訪しました。山の下閘門の開閉では海と川の水位差（約2m）を見学し、また、



NPO法人「水辺の会」代表の大熊孝さんによる講演や水質テストで通船川の歴史や環境を学び、湊まち新潟のまちづくりを考える機会となりました。

◆9月21日（土）第5回～新潟湊の経済を支えた建物探訪～

9月21日、「湊まち新潟歴史ウォーク2013」第5回～新潟湊の経済を支えた建物探訪～が実行委員を含む52名の参加で開催されました。西大畑公園から寄居浜まで、大正時代の豪商・齋藤家の別荘「旧齋藤家別邸」と旧新潟市長公舎「安吾 風の館」、昭和初期建築の「新潟カトリック教会」など、明治の開港五港となった近代新潟の歴史的建物を訪ねました。参加者は秋晴れのなか、會津八一歌碑、大砲にて時を知らせたドン山などの説明に、歴史や文化に思いを巡らせました。



◆10月19日（土）第6回～沼垂湊のまち散策～



法光院

「湊まち新潟歴史ウォーク2013」の屋外では最終となる第6回～沼垂湊のまち散策～が、爽やかなウォーク日和となった10月19日、実行委員を含む45名の参加で開催されました。最初に、阿賀野川、信濃川の氾濫で度重なる移転を余儀なくされた先人の苦労を刻む「沼垂定住三百年記念の碑」を新潟シティガイドの解説で紐解きました。続いて「波しずめの不動」と伝わる仏画が安置された「法光院」で長者伝説を聞き、豊漁と海上安全を祈願する「乙子神社」の難船絵馬、江戸時代から続く酒蔵では当時の木組みを見学し、廻船で佐渡、北海道と交易した時代を学びました。後半は、湊への河川交通の要であった栗の木川（現バイパス）を辿りながら、平安時代の「蒲原の津」に始まり、再度復活した「蒲原神社」へ進み、「ここに古信濃川の流れありきの碑」で解散となりました。第1回の「沼垂湊」の歴史概説、第4回の通船川に繋がる湊まちの発祥と伝説の地を巡るウォークとなり、参加者は、あらためて新潟湊の歴史の厚みを知ることができました。

